

新型コロナウイルス感染症

COVID-19

2019年12月、中国の湖北省武漢市で肺炎患者の集団発生が報告されて以降、この新型コロナウイルスは世界中に拡大し続けています。日本国内では、2020年1月16日に初めて患者が報告され、2月1日には、指定感染症に指定されました。現在では、明らかな接触歴がない感染者も報告されるなど患者数が増加しています。毎日のようにテレビやインターネットで発信される様々な情報は、注目を集めることが優先され、受け手側が正しい情報をインプットできず、かえって不要な不安感や恐怖心を増強させています。地域住民の皆さまには、新型コロナウイルス感染症に、ご自身がかからない、また他の人にうつさないための正しい情報を持ち、実践可能な感染予防を実施しましょう。

COVID-19の特徴

感染経路	主な経路は、咳やくしゃみで口から飛び出た飛沫を吸い込む、 飛沫感染 、また飛び出た飛沫を手指で触れて目を擦る、口に入れるなどの 接触感染
潜伏期間	4～5日(最長14日間)
症状	インフルエンザに似た症状が約1週間程度続き、8割は症状が軽減、2割は悪化
重症化リスク	高齢者、心血管疾患、糖尿病、悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患などの基礎疾患がある人など

うつらない・うつさない 有効な感染対策

正しくマスクを着用 しましょう

濃厚接触を避けるため、マスクの着用は必須。鼻を出して着用しない。



- 1 鼻ワイヤーを鼻に合わせる
- 2 プリーツは下向きでしっかり開く
- 3 しっかり開いて隙間を作らない
- 4 顎までしっかり覆う

手指衛生を徹底 しましょう

基本は、石けんと流水で十分に手を洗います。アルコール手指製剤も有効で便利に使用できます。



石けん+流水



手指消毒剤

感染対策は至ってシンプル
手洗いなどの基本が重要です



咳エチケットを徹底 しましょう

マスクで
鼻と口を
覆いましょう



急なくしゃみや咳がでるときは？



ティッシュや
ハンカチなどで
鼻と口を覆いましょう



上着の内側や袖で
鼻と口を覆いましょう

当院では、新型コロナウイルス感染症拡大防止として様々な対策を実践しています。今回は、その一部を紹介します。

向かいあって食事をしない 食事中は会話をしない

(他人にウイルスを飛ばさない、他人からウイルスを受け取らない。)



職員食堂では1テーブルに職員同士が向かい合うことを避けるため、片側のみ椅子を設置しています。

クラスター(集団)をつくらない



換気の悪い密閉空間に多くの人がいることや、近距離で会話をすることを避けるため、エントランスホールのテレビとテーブルを撤去しました。

